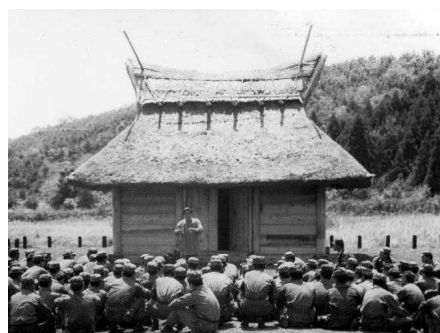


古代復元住居の改修体験しませんか？

現代は、いろいろなものが開発され、さらに進化して便利な世の中になってきています。その一方で、中山間地域等の貴重な伝統文化・伝統技術は失われつつあります。そのため、それらを直に見たり、体験できる機会も激減しています。

近年、グリーンツーリズムなどのように体験型の観光の取組も進められていたり、地域おこしに関する地域住民やボランティアの取組がなされていたりしており、地域や伝統文化に対する人々の関心は高いと言えます。

さて、考古博物館には、その一角に「古代復元住居」があります。古代復元住居は、昭和41年から開始された「史跡等環境整備計画（風土記の丘整備事業）」によって、旧西都原資料館の附属施設として設置されました。しかし、設置から半世紀近い歳月が経過し、茅葺き屋根の劣化が著しく、見学者への公開ができない状況となっています。



【設置当時の「古代復元住居」】

茅葺きの屋根を葺き替える様子は、私自身も見たことがありませんし、その作業が見られるということは、大変貴重な機会だと考えます。また、葺き替えといっても、それぞれの材料を確保するのに適切な時期や量を検討するなど、事前の準備も数多くあります。これらの準備から屋根の葺き替え作業までを通して体験できる機会に出会うことは、今後なかなかないと思います。



【現在の「古代復元住居」】

そこで、県民のみなさまに伝統文化に触れる機会を提供し、地域の文化と技術の継承を図ることを目的に、今年度からの2カ年で、古代復元住居の屋根の改修を県民参加型のイベントとして実施していきます。材料調達から葺き替え作業まで、貴重な伝統文化体験に参加してみませんか。

みなさまのご応募お待ちしております。

(田中敏雄)

※「古代復元住居改修体験」の詳細については、西都原考古博物館までお問い合わせください。